

峯みねのたより

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

新装刊

019号

2020年7月25日発行
(令和2年7月25日)

〒981-1505
宮城県角田市角田字長泉寺69番地
電話 0224(62)1004
FAX 0224(63)0063
<http://www.chousenji.jp/>

曹洞宗 長泉寺
六国峯

今年のお盆法要は

新しい生活様式で！



長泉寺では新型コロナウイルス感染症への取り組みの一環として、もうじき来るお盆に関する法要を新しい生活様式（3密を避けマスク着用）に沿った形で施行することに致しましたのでお知らせ致します。

長泉寺の本堂は県内でもトップクラスの大きさと広さでエアコンや換気機能にも優れ、手すりの消毒・坐席の間隔にも配慮していますのでご安心下さい。

■施食せじき会法要

『施食会』は、私たちのご先祖様や有縁無縁の精霊をお迎えし、お盆の供養をする法要です。皆様方のお位牌をおあずかり



※施食会の様子

している位牌堂を巡行して読経致します。
近隣お誘い合わせのうえ多数ご来山いただき、ご焼香賜りますようご案内申し上げます。

日時
8月4日（火）～8月8日（土）
毎晩七時より

於 長泉寺本堂にて
※供養料はお気持ちをお包み下さい

※施食せじきというの、読んで字のごとく、供養（食べ物）を施す、という意味です。

その施す対象は誰かというところ、仏の教えにふれることが出来なかったために悪いことをしてしまい、常に飢えに苦しめられているという霊的な無縁の存在「餓鬼がきぼとけ仏」です。もともとは、この無縁の仏に食を施すことによつて仏教との関わりをもたせ、救う、という意味であったようです。が、現在では、亡くなられた方への供養が中心です。



※8月4日より五日間毎晩行いますので、是非おいで下さい。

■新益供養

今年の新益供養は、3密を避けるために参拝者を制限（一家族一名）供養時刻をお亡くなりになられた命日によって分散開催いたします。

日時
8月10日（月） ● 山の日
13：00～令和元年6月～10月亡
14：30～令和元年11月～
16：00～令和2年3月～6月亡
令和2年2月亡

於 長泉寺本堂にて
※供養料：一人一万円
※お位牌を持参下さい



昨年の新益供養



■永代供養者お盆供養会

永代供養者のお盆供養会を左記日程で行います。3密を避けるために参拝者は一家族一名とさせていただきます。(マスク着用)

日時

8月15日(土)

10:00~

於 長泉寺本堂にて

※いずれの供養会もマスク着用・数珠ご持参の上、平服でお越し下さい。



※昨年の永代供養者お盆供養

※五月二十五日に緊急事態宣言は解除されましたが、七月に入ってから東京を中心に新型コロナウイルス感染症のPCR検査による陽性者が増加しています。宮城県においても七月に入ってから連日感染者が増加しています。

長泉寺でも対応を取っていますが、この夏のお盆法要はいわゆる3密(密閉、密集、密接)等を避けて人との間隔はできるだけ2メートル空ける、マスクを着用するなどの具体的で細かな行動の「様式」を心掛けることを基本に出来るだけ感染症の拡大を防ぐことを第一に考えて今夏のお盆法要を施行させていただくこととなりました。

お檀家さまにはご不便をおかけすることとなりますが、国が求める「新しい生活様式」を実践していきたいと考えていますのでご協力のほど宜しくお願い致します。



臥牛門復元事業が完了しました

長らく長泉寺のシンボルの存在であった臥牛門(角田市文化財)は、本堂再建事業に伴い解体され暫くその姿を見ることが出来ず多くの方々から早期の復元を望ま

ていました。

昨年秋に工事を開始し、今年3月末に工事が完了しました。

七月四日には、総代長鈴木俊輔様をはじめ護持会常任役員の皆様に参加いただき「歩き初め」を行いました。



※歩き初め時間に合わせるかのように雨が降りました。

■臥牛門について

角田館の旧表門といわれるもので明治三十五年（一九〇二）に長泉寺へ移されました。

三間一戸の切妻造、妻飾りは蕪懸魚、素木の八脚門で藩政時代の武家の門造りを知る貴重な史料となっており昭和四十三年十月に角田市文化財に指定されました。

「臥牛門」の扁額は角田最後の邑主第十四代石川邦光公の書であります。

新本堂再建前の臥牛門は、現在の鐘楼わきにあり中門の役割りになっていました。



※旧・臥牛門の様子

■臥牛門扁額の落款印について

石川邦光公の書である臥牛門の扁額に記されている落款印は3個の印があります。（①関防印②白文印③朱文印）



※石川邦光公の書による臥牛門の扁額

①関防印

昔の中国で公文書に押した割印を起源とする引首印（関防印）は印面が長方形をした印鑑で、主に作品の右肩に捺して使用するものです。

印文に刻み込む言葉としては主に祝語、おめでたい言葉、自分を戒める自戒、座右の銘などが使われます。捺す度にこの言葉を確認して心に刻むという意味合いのほか、さまざまな書本体の内容に相反したり干渉しない差し障りのない言葉が選ばれることが多いです。

臥牛門額の関防印には「守己静」と記されています。
おのれ己を守りて静かなり
という意味であると思われま



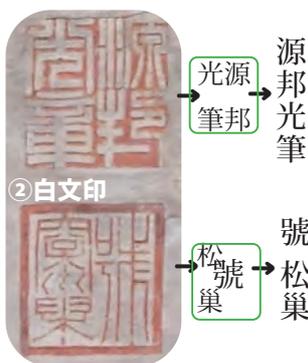
①関防印

②白文印

通常の印鑑と似たように自分の氏名と姓名（通常実名）を捺印するものです。

③朱文印

作者の雅号（ペンネームのようなものです。）



③朱文印

■臥牛門復元に伴い左記石像を移設しました

場所は宝篋印塔前になります。（長泉寺東墓地内）

無縁供養塔



彌勒菩薩

昭和 47年 4月
高倉釜前 高橋貞夫様 建立



毛髮供養塔

昭和 51年（辰年）11月吉日
日下 きみ子様 建立



昭和 53年 7月吉日
金子理容店 様 建立

長泉寺 本堂利用のご案内

— 新しい生活様式の実践に向けて —

長泉寺の本堂は、県内でも最大級の広さを有し、正面及び両脇は庭になっており、いわゆる3密状態を回避する事が容易な環境にあります。

さらに換気設備も整っているので新しい生活様式に則った葬祭も安心して施行することが出来ます。

尚、少人数の場合には「みねの里」の利用をお勧めします。



長泉寺本堂を正面より望む



長泉寺本堂・座席の距離を密にならないように！



少人数の場合にはみねの里多目的ホールの利用をお勧め致します



子ども食堂も開催されています

広々とした大書院

長泉寺本堂・みねの里多目的ホール使用（謝礼）表

用途	法要のみ	葬儀のみ	通夜・葬儀・法要	その他の活動
使用料（謝礼）	0円	0円	30,000円 (会食が伴う場合)	5,000円 午前9時～午後4時
会食が伴う場合	10,000円	10,000円		

※この他、祭壇使用料はゼロ。葬祭会館よりはるかにリーズナブルです。

御葬儀や法事等で

長泉寺書院を利用する際に
配膳から片付けまで
全て行ってくれる

仕出屋さん



四季の料理 「梅田」

☎ 0222-239-7050

一客一心 「花の膳」

☎ 0222-282-5550

一燈明 「みぶな」

☎ 0120-155-327

味の「金魂」

☎ 0120-155-099

四季の彩り「二乃庵」

☎ 0120-08-1151

「美よし家」

☎ 0224-63-2170

「遊膳」

☎ 0224-62-5254

「ララ・さくら」

☎ 0224-53-1560

直接お電話でお申し込み下さい。
尚、長泉寺でもパンフレット等をお預かりしています。尚、斡旋は致しかねます。

お知らせ



長泉寺からお願い

古くなった卒塔婆、位牌のお焚上げ用カゴを新しく設置致しました。

このカゴは読経してお焚上げする物品のための聖なるカゴです。ゴミ箱ではありません！その他のゴミは入れないで下さい。

墓地への猫の放置にも困っています。

墓地清掃事業者のご紹介

近年、遠隔地やお年寄り世帯のお檀家様より、墓地の清掃代行をして頂ける事はできないかとの問い合わせが増えてきています。

さらに今般の新型コロナウイルス感染症の影響で、墓地の清掃代行をして頂ける事はできないかとの問い合わせが増えてきていますので、長泉寺で長年お付き合いをしており安心してお願いできる業者様をご紹介します。

- (公) 角田市シルバー人材センター
☎0224-6315112
 - 岡田石材工業
☎0120-6321398
 - 山田石販(大蔵山スタジオ)
☎0120-6311246
 - 大山サービス
☎0120-6311246
- ※皆さん角田市内の業者様です。



峯のたより

第19号発行のご挨拶

長泉寺住職

奥野 成賢

年始めから新型コロナウイルス感染症の影響で小中高の一斉休校や緊急事態宣言の発出による外出自粛等により我慢も強いられました。長泉寺でも観音講や旅行会等の行事延期や規模の縮小等があり今も継続しています。

新型コロナウイルス感染症に対する治療薬やワクチンが未だ出来ていないため感染者数が少なくなっても第2波、3波の恐れがあり油断は出来ません。政府からも「新しい生活様式」(3密を避けること、不要不急の外出を減らす、こまかな感染症対策を行う等)が提案されておりまだまだ我慢の日々が続いて行きそうです。

また、今後は台風季節を迎えるため大雨等の災害に対する準備も必要です。(既に七月上旬には九州地方で大雨があり被害も甚大でした。)記憶にも新しい昨年10月の台風19号による大雨で角田・丸森も甚大な被害を被り、また多くの尊い人

命を失いました。復旧復興の途中であるだけに非常に心配しています。

このような時期ですが、新しい生活様式のもと今年もあと半年、自分の足もとを見て自己点検日々を確実に生きたいものです。私も毎日御本尊様、道元禅師様、瑩山禅師へ身体健全、健康増進、修行不退を祈願しております。

皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

年回表(2020年)

一周忌	令和元年/平成31年 (2019年)
三回忌	平成30年(2018年)
七回忌	平成26年(2014年)
十三回忌	平成20年(2009年)
十七回忌	平成16年(2004年)
二十三回忌	平成10年(1998年)
二十七回忌	平成6年(1994年)
三十三回忌	昭和63年(1988年)
三十七回忌	昭和59年(1984年)
五十回忌	昭和46年(1971年)
百回忌	大正10年(1921年)